



川崎市立川崎病院
ポルツリー

くすの木

川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



命を守る **災害** **病気**

もしもの 備え できていますか？

☐ 病気 に備えていますか？

コロナ禍で、病院やけんしんの受診を控える方が増えています。感染防止も大切ですが、自分の身体を病気から守るため、適切な受診を続けましょう！

皆さんは、健診と検診は異なるものをご存知ですか？ **健診**は、健康診断の略で、肥満症や糖尿病になっていないかなど、体を全体的にチェックして、生活習慣を見直すことを目指すものです。一方、**検診**は、がん検診や歯科検診など、特定の臓器に絞った検査を意味します。



川崎病院で受診できる健診・検診

特定健診（特定健康診査）	メタボリックシンドロームを予防・改善するための健診
後期高齢者健診 （75歳以上）	生活習慣病を早期発見することでQOL（生活の質）を確保し、介護予防につなげるための健診
川崎市がん検診	川崎市が市民の方を対象に費用の一部もしくは全部を負担して「がん」に特化した検査を行うもの（対象者と自己負担金については川崎市の規定があります）

☐ 川崎市のがん検診 を活用しましょう！

肺がん検診 胃がん検診 大腸がん検診

子宮がん検診 乳がん検診

受診の際は 川崎市がん検診・特定健診等コールセンター へ！

044-982-0491

（月～金）8:30～17:15 （土）8:30～12:30【第2・第4のみ】

がん罹患数ランキング



出典：国立がん研究センター がん情報サービス（2017）

病 気 に
備 え る

罹患数第1位の **前立腺がん** についてもっと知ってみましょう！

PSA※
4 以上

泌尿器科
受診
<病理検査>

悪性 治療を
受けましょう

良性 定期的に
受診しましょう

※PSA検査：前立腺から分泌されるたんぱく質の量を調べる採血検査です。

泌尿器科医の
勝井です！
私が解説します！

治 療

前立腺がんは、手術と放射線で病変を取り除いたり、やっつけることができます。がんが前立腺の外へ転移している場合には、根治治療ではなく、全身治療が必要となります。

男性ホルモンに依存して悪さをするため、男性ホルモンを抑えるホルモン療法を行うことが全身治療の基本となります。ホルモン療法が効かなくなってきた場合には、抗がん剤による化学療法を導入することもあります。

予 防

前立腺がんの強い予防法というものはありません。しかし、動物性脂肪や乳製品の摂取が多く、野菜・食物繊維の摂取が少ない生活を送っている人と前立腺がんの関連性が指摘されています。他のがんの予防と同じように、前立腺がんにおいてもバランスのとれた食生活を心がけることはとても大切です！

前立腺がんの治療で活躍する『ダ・ヴィンチ』をご紹介します！



「ダ・ヴィンチ」って、何？

医者が3Dの内視鏡画像を見ながら、ロボットアームを遠隔操作して内視鏡手術を行う**医療用ロボット**です。人間の手首より広い可動範囲で、繊細な動きと素早く正確な手術を実現します。



実は、手ブレ補正もついてます！

どんな手術で使えるの？

がんが前立腺に限局している場合です。前立腺の外に転移がある場合は、手術でなくホルモン治療（全身治療）が必要となります。

何がすごいの？

ダ・ヴィンチ手術は、患者さんの体に小さな穴を開けて行います（低侵襲手術）。炭酸ガスを用いて手術する場所を膨らませ、スペースを作るため、ガスの圧力により静脈からの出血を極端に抑えることができます。傷が小さいので術後の痛みが軽減され、緻密な縫合や3D視野により機能温存の向上が期待できます。

当院では、前立腺がんに対するダ・ヴィンチ手術を200例以上、内視鏡下での前立腺摘出術も長年行ってまいりました。手術療法にご不安がありましたら、ぜひご相談ください。



災害に備える

川崎病院の 災害対策

川崎病院では、病院長直属の機関として災害医療企画室を設置し、災害発生時にも医療を提供できるよう備えています！



Q1 災害医療企画室は何のために作られたの？

災害医療企画室では、災害時対応マニュアルの検討、院内での災害教育や災害対応訓練の企画、災害備蓄や物品管理、災害医療派遣チーム（DMAT）の管理等、災害発生時の準備や企画を行っています。

災害医療企画室にはすべての部門が参加しており、病院全体が災害時に連携して対応できるよう組織化されています。

Q2 川崎病院の災害対策の特徴って何？

- **災害拠点病院** 災害時に多くの重傷患者を受入れる体制を整えた地域の拠点病院です。
- **耐震構造** 7階床下には制振機構を備え、上層階の揺れを軽減する構造となっています。



Q3 災害発生時のためにどんな準備をしているの？

直下型地震や、近隣河川の氾濫、津波や高潮などを想定し、災害時でも病院機能を維持できるよう備えています。

- 電力・給水・医療ガス等の重要な設備は、2ルートで供給します。
- エネルギ一棟を新設し、浸水被害を防ぎます。
- 3日分の水・食料、医療材料、燃料等を備蓄します。（患者・職員分）
※経管栄養や、乳児のための粉ミルクなども準備します。
- 災害時医療対応訓練を毎年実施します。

地域の基幹病院として、他の医療機関と連携する体制も整えています。

川崎病院の 使命

地震のみならず、台風・豪雨による河川の氾濫や洪水・高潮の恐れを身近に感じる昨今です。当院は災害時に速やかな救命が必要な重傷患者に対応する災害拠点病院の役割を果たせるように日頃から準備しております。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

災害医療企画室
鈴木室長



災害発生時にすぐに避難できるように備えていますか？

備え

- 既に準備されている方も、**MASK**を追加してコロナ禍での災害にしっかりと備えましょう！

お薬手帳はアプリを活用しましょう！
日頃からスマホで写真を撮っておくと便利！



リュックに足そう！

M



マスク

A



アルコール

S

スマホ



K

くすり



病院を 守る

災害に強い病院づくり

川崎病院では、多摩川の洪水や高潮の際には、1～3mの浸水被害が発生すると想定しています。

現在、発電設備や熱源設備が地下に設置されているため、新たにエネルギー棟・給水ポンプ棟の整備を進めています。



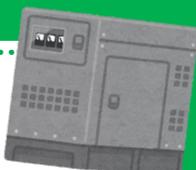
エネルギー棟 (イメージ)

設備

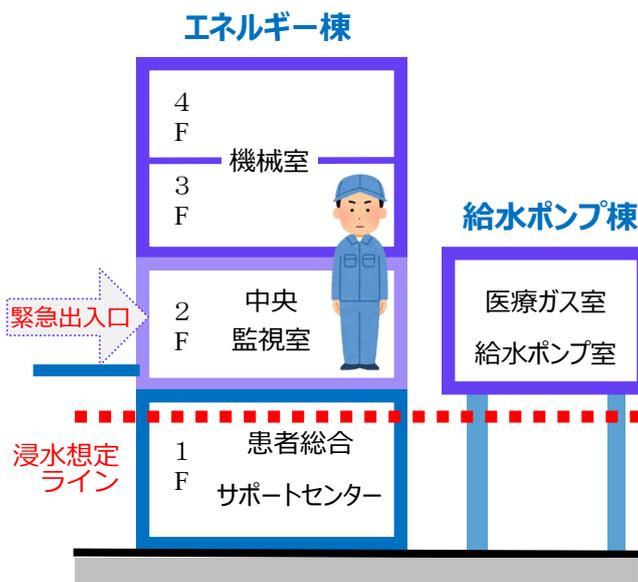
●電源・熱源装置

大量の電源・熱源装置を使用しています。

Check! なんと、**一般家庭1,500世帯分**もの電力を使用しています！



エネルギー棟・給水ポンプ棟の構造をご紹介します！



管理

●電気・空調の制御・管理

様々な装置が正常に稼働しているか24時間体制で監視しています。

●緊急時対応

重要な機能への電力供給や、安全に復旧するために必要な対応を行います。



給水ポンプ棟

建設予定地



エネルギー棟

災害時でも電力や熱源が確保できるよう、多様な電源を備えています！

一般に供給される電力だけではなく、中圧ガスや重油による発電機を設置するなど、複数の電源・燃料による電気・空調の供給体制をとることで、災害時でも停電することなく医療機能を維持でき、患者さんを守ることができます。

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報厳重に保護され、その秘密は守られます。